

[トップページ](#) > クマ防除用電気柵

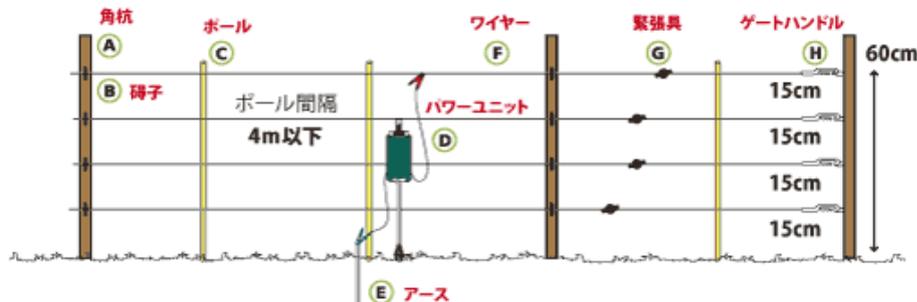
[印刷用ページを表示 \(PDF\)](#)



クマ対策 ～電気柵～

体の大きなヒグマも電気柵で十分防除できます。メインフェンスの外側に張られているのがトリップ柵。クマが穴を掘り、下から侵入しようとするのを防ぎます。田畑や養蜂用の蜂箱、住宅地へのクマの侵入防止のための広域防除も、電気柵で行われています。

4 段張り



イラストの部品をクリックすると、部品のページにジャンプします

A: 角杭

出入り口や曲がり角、地面の凹凸のある場所に使ってフェンスを支えます。力がかかる場所なので、ある程度しっかりした垂木や[絶縁木インサルティンバー](#)、[Y型ポスト](#)などを使います。垂木を使った場合は[リング碇子](#)などを取り付けて絶縁してください。

B: 碇子

垂木などにワイヤーを取り付ける際に使います。ガラガーのパワーユニットはパワーが強いので、確実に絶縁するためにプラスチックの肥料袋などは使わず、専用の碇子をお使いください。

C: ポール

ワイヤーを支えるためのポールで、クマには段数や高さが自由に調節できる[グラファイポール](#)がおすすめです。平坦でまっすぐワイヤーを張る場合は10型1000mmで十分ですが、少し曲がりがあったり、地面が凹凸しているような場所では12型のほうがしっかり張れます。

D: パワーユニット(電牧器)

ワイヤーに電気を流すための機械です。高電圧の電気を流して、触れた動物にショックを与えます。このショックは静電気のようなもので、動物に怪我をさせたりするようなことはありません。養蜂のようにフェンスの移動を行う場合は[乾電池式](#)や[バッテリー式](#)、家の周囲の田畑で電源が確保できる場合は[100V電源式](#)の機種があります。バッテリー式は電源の無い場所でも[ソーラーパネル](#)による発電を利用して作動させることができます。

E: アース

パワーユニットが流す電気をひろい、電気的な回路を完成させる役目を果たします。パワーユニットがその性能を発揮するには、十分なアースが設置されている必要があります。フェンスを移動させる際には、アースも取り外して設置しなおしてください。

F: ワイヤー

クマはあまり目がよくありません。黄色やオレンジなど、色のついたワイヤーは逆に自然の緑にとけ込んで認識されなくなってしまいます。クマには一番見やすい白色の[リボンワイヤー](#)を使って目立たせます。いつも強い風が吹くような場所では、丸型の太いワイヤー、[ビッグホワイトワイヤー・ネオ](#)が良いでしょう。

G: 緊張具

きつワイヤーを張っても距離が長いほどワイヤーはたるんでしまいます。そんな状態を解消するために100mに1箇所程度の割合で緊張具を使います。通常ボリタイプのワイヤーを使うので、[簡易緊張具](#)を使います。

H: ハンドル

出入り口に使用します。高電圧を流しているワイヤーを結ぶのですから、しっかりしたハンドルを選びたいもの。ガラガーのハンドルは高電圧に耐え、劣化を防ぐしっかりとしたつくりになっており、安心してお使いいただけます。専用の部品を組み合わせた[ゲートセット](#)も取り揃えています。

動物別の仕様

[イノシシ](#)

[シカ](#)

[クマ](#)

体の大きなクマも簡易電気柵で十分防除できます。手のひらの大きなクマは電気柵が効きやすい動物です。クマの鼻の位置にワイヤーが来るように設置し、地面と一段目のワイヤーの間を大きくあけないようにしてください。クマは必ず穴を掘り、下をくぐって侵入しようとする。それを防ぐためにはメインフェンスの手前にフェンスを張る“トラップ仕様”が効果があります。

[クマ関連の商品はこちら](#)

[サル](#)

[アライグマ・ハクビシン](#)

フェンスの部品

[パワーユニット](#)

[テスター](#)

[杭・支柱](#)

[碇子](#)

[ワイヤー](#)

[接続金具](#)

[緊張具](#)

[リール](#)

[その他電気柵部品](#)

[ゲート](#)

[ネットフェンス](#)

フェンスの種類

[電気柵\(恒久式\)](#)

[電気柵\(簡易式\)](#)

[ネットフェンス](#)

【クマと物理柵】

これは知床で見られるヒグマの行動です。道路わきに設置されたフェンスは乗り越えたり、下をくぐったりして、クマに対してはほとんど効果がありません。また北海道の道東で多く設置されているシカ用の防除柵にもよじのぼり、めちゃめちゃに壊してしまう事もあります。



物理的な柵でクマを囲わなければならない時は、頑丈な[ネットフェンスタイプのフェンス](#)に電気柵を組み合わせ、よじ登りを防止します。電気柵の取り付けには[腕付碍子](#)などを使って、ネットフェンスから離して設置します。



【クマの視界】

これはクマの視界を再現したものです。白色のリボンワイヤーは遠く離れていても良く見えますが、それ以外の色のついたワイヤーは背景色にとけ込んでしまい、近づいても見えづらくなってしまいます。そこで私たちはクマ用の電気柵には白色のリボンワイヤーをオススメしています。

当社のクマ用電気柵



他社の電気柵：赤色丸型ワイヤー



他社の電気柵：黄色丸型ワイヤー



[ページの上へ](#)

クマを防ぐ電気柵について、お見積もりをご希望される方はこちらのシートをお使いください。

[お見積り依頼シート](#)：PDF 63KB

東京本社 東京都品川区東五反田1丁目19-2 電話：(03) 3449-3711 FAX：(03) 3443-5811 mail: email@surge-m.co.jp
札幌営業所 北海道石狩郡当別町字東裏1338-10 電話：(0133) 25-2222 FAX：(0133) 25-2255 mail: sapporo@surge-m.co.jp

当ホームページに掲載している情報・画像等を、許可なく複製、転用販売等の二次利用を行うことは禁止します。

このホームページはサージミヤワキ（株）札幌営業所が管理をしています。